

第3期計画修正箇所一覧表

番号	章	ページ	修正箇所		修正前	修正後
1	目次	目次	参考資料	用語説明等の参考資料を目次に追加		参考資料を追加 用語説明、教育基本法、策定委員会設置要綱、策定委員名簿、計画策定の経過
2	第1章	1	文言修正	国の取り組み内容が明確となるよう修正	国において、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために、教育の振興に関する基本的な計画を定めることが規定されており、これまで、	教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために、教育の振興に関する基本的な計画を定めることが規定されました。国においては、これまで、
3		2	図表1 加東市教育振興基本計画と関連計画	関連計画として「第2期加東市教育大綱」を追加		第2期加東市教育大綱を追加
4		4	文言修正	「,」を追加	総人口が1億2254万4千人	総人口が1億2,254万4千人
5	第2章	8	(2) 本市の教育に関する市民の意識実態	令和2年市民意識調査結果の反映	市が取り組んでいる施策または取り組もうとしている施策の重要性と現状の満足度について、	市が取り組んでいる施策の重要性と現状の満足度について、
6		8	(2) 本市の教育に関する市民の意識実態	令和2年市民意識調査結果の反映	平成24(2012)年調査以降の3回の調査結果を比較しました。	平成27(2015)年調査以降の3回の調査結果を比較しました。
7		8	(2) 本市の教育に関する市民の意識実態	令和2年市民意識調査結果の反映	市民意識調査の結果、「重要である」「やや重要である」を合わせた『重要である』割合が5割を超える施策は、	令和2(2020)年の市民意識調査の結果、「重要である」「やや重要である」を合わせた『重要である』割合(以下「『重要である』割合」という。)が5割を超える教育に関する施策は、
8		8	(2) 本市の教育に関する市民の意識実態	令和2年市民意識調査結果の反映	「小中学校における人権・道徳・環境体験学習などの充実」、「児童生徒の基礎学力の習得と社会への適応能力の向上」、「青少年の健全育成などに関する取組」となっています。	「小中学校における人権・道徳・体験学習などの充実・心の教育の推進」、「確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成と社会への適応能力の向上」、「健全な子どもを育てる取組・環境づくり」となっています。
9		8	(2) 本市の教育に関する市民の意識実態	令和2年市民意識調査結果の反映	その3つの施策の満足度については、「満足」「やや満足」を合わせた『満足である』割合が、前回調査より高くなっているものの、『満足である』割合は、全体の1割から1.5割程度となっています。	その3つの施策の満足度については、「満足」「やや満足」を合わせた『満足である』割合(以下「『満足である』割合」という。)は全体の1割から1.5割程度となっています。
10		8	(2) 本市の教育に関する市民の意識実態	令和2年市民意識調査結果の反映		そして、令和2(2020)年調査の項目に追加した施策のうち、「幼児教育と保育サービス等の充実」、「学校教育環境の整備充実」も『重要である』割合が5割を超えていますが、『満足である』割合は全体の1.5割から2割程度となっています。

番号	章	ページ	修正箇所	修正前	修正後	
11	第2章	8	(2) 本市の教育に関する市民の意識実態 令和2年市民意識調査結果の反映	「生涯学習（習い事、講座・講演会など）」、「スポーツ活動（テニス、スポーツクラブなど）」及び「加東市の歴史や文化を次世代に引き継ぐ活動」について、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を合わせた『参加している』割合は、	「生涯学習（習い事、講座・講習会など）」、「スポーツ活動（テニス、スポーツクラブなど）」及び「加東市の歴史や文化を次世代に引き継ぐ活動」について、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を合わせた『参加している』割合（以下『参加している』割合という。）は、	
12		8	(2) 本市の教育に関する市民の意識実態 令和2年市民意識調査結果の反映	平成29（2017）年調査では、平成27（2015）年調査よりも低くなっており	令和2（2020）年調査では、平成29（2017）年調査よりも低くなっており	
13		8	(2) 本市の教育に関する市民の意識実態 令和2年市民意識調査結果の反映		また、図書館や公民館の利用状況について、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を合わせた『利用している』割合は、令和2（2020）年調査で図書館の利用は全体の4.5割、公民館の利用は2割程度となっています。公民館の利用が「ほとんどない」と回答した理由について、「利用する時間的余裕がない」の割合が38.7%と最も高く、次いで「興味のある講座やイベント、サークル活動がない」の割合が29.0%となっています。	
14		8	(2) 本市の教育に関する市民の意識実態 令和2年市民意識調査結果の反映	「オープンスクールなどの学校行事や、学校でのボランティア活動などに参加したことがあるか」の質問に対して、「毎回参加」または「参加したことがある」と回答した合計の『参加したことがある』割合は、平成29（2017）年調査で半数近くに増え、特に、「毎回参加」と回答した割合より「参加したことがある」と回答した割合が大きく増加しています。	「オープンスクールなどの学校行事や、学校でのボランティア活動などに参加したことがあるか」の質問に対して、「毎回参加」「参加したことがある」を合わせた『参加したことがある』割合（以下『『参加したことがある』割合』という。）は、平成29（2017）年調査で半数近くに増え、令和2（2020）年調査でも半数近くが参加しています。	
15		9	(2) 本市の教育に関する市民の意識実態 令和2年市民意識調査結果の反映	「青少年の補導活動や地域子ども見守り隊などの活動に参加したことがあるか」の質問に対して、「毎回参加」または「参加したことがある」と回答した合計の『参加したことがある』割合は3割です。	「青少年の補導活動や地域子ども見守り隊などの活動に参加したことがあるか」の質問に対して、『参加したことがある』割合は3割程度となっています。	
16		9	■「加東市総合計画に関するアンケート」より抜粋	平成24年調査概要は削除	平成24（2012）年調査：平成24（2012）年1月～2月に満18歳以上の市民を対象に実施 調査対象4,000人、有効回答数1,508人、有効回答率37.7%	削除
17		9	文言修正	「：」を削除	平成29（2017）年調査：平成29（2017）年7月～9月に満18歳以上の市民を対象に実施 ：調査対象4,000人、有効回答数1,178人、有効回答率29.5%	「：」を削除

番号	章	ページ	修正箇所	修正前	修正後	
18	第2章	9	■「加東市総合計画に関するアンケート」より抜粋	令和2年調査概要を追加 補足説明を追加	令和2(2020)年調査：令和2(2020)年10月～11月に満18歳以上の市民を対象に実施 調査対象4,000人、有効回答数1,610人、有効回答率40.3% ※令和2(2020)年調査では、平成30(2018)年3月に策定された第2次加東市総合計画の取組施策に合わせた調査のため、前回、前々回調査とは施策名が異なります。図表6の各施策の( )内は、平成27(2015)年調査及び平成29(2017)年調査での施策名となっています。	
19		9～13	図表6	令和2年度総合計画市民アンケート調査結果による記述の順番の入れ替え及び図表追加	①施策の重要性と満足度  【記述順】 ●芸術・文化に関する施策 ●小中学校における人権・道徳・体験学習などの充実 ●児童生徒の基礎学力の習得と社会への適応能力の向上 ●生涯学習活動の支援 ●スポーツ活動の支援 ●青少年の健全育成などに関する取組 ●人権尊重に対する取組	①施策の重要性と満足度  【記述順】 ●確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成と社会への適応能力の向上 (児童・生徒の基礎学力の習得と社会への適応能力の向上) ●小中学校における人権・道徳・体験学習などの充実・心の教育の推進 (小中学校における人権・道徳・体験学習などの充実) ● (青少年の健全育成などに関する取組) ●小中一貫教育の推進 ●インクルーシブ教育の充実 ●幼児教育と保育サービス等の充実 ●芸術・文化に関する施策 ●生涯学習活動の充実(生涯学習活動の支援) ●スポーツ活動の支援 ●学校教育環境の整備充実 ●図書館機能の充実 ●人権尊重に対する取組 ※赤い丸(●)は、令和2年調査に追加した施策
20		9	図表6	注釈追加		※図表6の以下の説明において、「重要である」「やや重要である」を合わせた割合は、『重要である』と表記し、「満足」「まあ満足」を合わせた割合を『満足である』と表記しています。

番号	章	ページ	修正箇所		修正前	修正後
21	第2章	14～15	図表7	令和2年度総合計画市民アンケート調査結果により図表追加、文言修正	②各種活動への参加状況  【記述順】 ●生涯学習（習い事、講座、講演会など） ●スポーツ活動（テニス、スポーツクラブなど） ●加東市の歴史や文化を次世代に引き継ぐ活動	②各種活動への参加状況・施設の利用状況など  【記述順】 ●生涯学習（習い事、講座、講習会など） ●スポーツ活動（テニス、スポーツクラブなど） ●加東市の歴史や文化を次世代に引き継ぐ活動 ●中央・滝野・東条図書館の利用 ●図書館の利用目的（複数回答） ●社・滝野・東条公民館の利用 ●公民館を利用していない理由（「ほとんどない」に○をつけられた方、回答は1つ） ※赤い丸（●）は、令和2年調査に追加した調査項目
22		14	図表7	注釈追加		※図表7の「スポーツ活動」と「加東市の歴史や文化を次世代に引き継ぐ活動」の説明においても、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を合わせた割合を『参加している』と表記しています。
23		9～16	図表	令和2年市民意識調査結果の反映	図表6～9	令和2年調査の市民意識調査結果による修正（策定委員会資料5のとおり） ※施策名は令和2年調査の内容とし、括弧書きで平成29年調査及び平成27年調査の施策名を表示。
24		17	図表追加	人権に関する意識を追加	図表10	⑤人権に対する意識 ●「人権」（いいめ、虐待、差別など）ということを、日常的に意識している 図表10追加 （策定委員会資料5のとおり）
25		18	文言修正	()を全角に修正	■令和元(2019)年度教科に関する調査結果・児童生徒質問紙調査結果の概要（全国平均との比較）	■令和元(2019)年度教科に関する調査結果・児童生徒質問紙調査結果の概要（全国平均との比較）
26		18, 19, 21～29	図表番号修正	図表追加による図表番号の修正	図表10～27	図表11～28
27		18, 30～32	図表番号修正	本文中の図表番号引用箇所の修正	図表10～27	図表10～28
28		23	文言修正	英検の表現	本市では英語教育に重点を置いて取り組んでおり、実用英語技能検定3級以上を取得している中学校3年生の割合は、国や兵庫県と比較しても高くなっています。本市の独自事業として、実用英語技能検定の受検料の助成を行っており、	本市では英語教育に重点を置いて取り組んでおり、実用英語技能検定（以下「英検」という。）3級以上を取得している中学校3年生の割合は、国や兵庫県と比較しても高くなっています。本市の独自事業として、英検の受検料の助成を行っており、

番号	章	ページ	修正箇所	修正前	修正後	
29	第2章	23	図表17のタイトル 図表18のタイトル (旧図表番号は16、17)	英検の表現	図表16 実用英語技能検定の取得状況 図表17 実用英語技能検定の検定料助成利用者数	図表17 英検の取得状況 図表18 英検の検定料助成利用者数
30		23	文言修正	西暦追加	令和元年度に助成制度を	令和元 (2019) 年度に助成制度を
31		24	文言修正		こども園や小中学校などの関係機関	認定こども園・保育所や小中学校などの関係機関
32		24	図表20、図表21の注釈 (旧図表番号は19、20)	西暦追加	※平成29年度は6月以降の集計	※平成29 (2017) 年度は6月以降の集計
33		27	図表25の注釈 (旧図表番号は24)	施設名の修正	社コミュニティセンター コミュニティーセンター東条会館	社コミュニティセンター コミュニティセンター東条会館
34		30	文言修正	英検の表現	本市独自の事業であるかとう英語ライセンス制度、 実用英語技能検定の検定料助成、加東わくわく英語村 村に取り組むとともに、外国人英語指導助手 (ALT) を増員し英語授業の充実に努めることで、 実用英語技能検定の受検者の増加や英語によるコ ミュニケーションに対する意欲や自信の向上など、	本市独自の事業であるかとう英語ライセンス制度、 英検の検定料助成、加東わくわく英語村に取り組み とともに、外国人英語指導助手 (ALT) を増員し英 語授業の充実に努めることで、英検の受検者の増加 や英語によるコミュニケーションに対する意欲や自 信の向上など、
35		31	文言修正	図表番号の位置及び文言 修正	体力・運動能力については、体力・運動能力、運動 習慣等調査の結果を踏まえ (図表15)、	体力・運動能力については、体力・運動能力調査 (図表16) や運動習慣等調査の結果を踏まえ、
36	32	文言修正		令和元 (2019) 年度末で市民登録率は54.7%で、	令和元 (2019) 年度末の市民登録率は54.7%で、	
37	第3章	36	(2) 基本理念イメージ	基本方針の「.」削除	I. 未来を切り拓く子どもを育む小中一貫教育の推 進 ～学びの連続性を大切にした教育の充実～ II. 子どもの学びを支える教育環境の整備 III. 人生100年時代の到来を見すえた生涯学習の推進	「.」削除
38	第4章	42, 44, 47, 50, 54	文言修正	調査名の修正	学校生活アンケート	児童生徒アンケート
39		42	成果指標 (目標値の見直し)	過去の実績等から上昇見 込を精査	●学校の授業以外で、平日に1時間以上学習する児 童生徒の割合 令和元 (2019) 年度 73.1% ⇒ 令和7 (2025) 年度 80.0%	令和元 (2019) 年度 73.1% ⇒ 令和7 (2025) 年度 78.0%

番号	章	ページ	修正箇所	修正前	修正後
40	第4章	42	成果指標 (基準値、目標値の見直し) 令和2年度に実施した調査の速報値により修正	●収集した情報を整理して、発表資料を作成することが得意であると答える児童生徒の割合 平成29(2017)年度 10.1% ⇒ 令和7(2025)年度 60.0%	令和2(2020)年度 25.6% ⇒ 令和7(2025)年度 50.0%
41		44	成果指標 (目標値の見直し)	●将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 令和元(2019)年度 62.1% ⇒ 令和7(2025)年度 80.0%	令和元(2019)年度 62.1% ⇒ 令和7(2025)年度 72.0%
42		44	成果指標 (基準値、目標値の見直し)	●ふるさとを大切にしたいと思う児童の割合 令和2(2020)年度 基準値 (%) ⇒ 令和7(2025)年度 10ポイント増	令和2(2020)年度 87.9% ⇒ 令和7(2025)年度 92.0%
43		49	文言修正	生産者の苦勞を知ることに、感謝する心を育てる取組を行います。	生産者の努力を知ることに、感謝する心を育てる取組を行います。
44		49	文言修正	全クラスに栄養教諭が訪問して食事マナーや食事を通じて豊かな人間性(心身の健康・社会性)を築く食育指導を行います。	全クラスを栄養教諭が訪問して食事マナーや食事を通じて豊かな人間性(心身の健康・社会性)を築く食育指導を行います。
45		49	文言修正	保護者と児童に食への関心や食品を選択する能力を高めます。	保護者と児童の食への関心を高めるとともに、食品を選択する能力を高めます。
46		50	成果指標 (基準値、目標値の見直し)	●不安や悩みがあったときに、相談できる人がいる児童生徒の割合 令和元(2019)年度 -% ⇒ 令和7(2025)年度 88.0%	令和2(2020)年度 92.3% ⇒ 令和7(2025)年度 100.0%
47		51	文言修正	保健師・臨床心理士・教育相談支援員による相談、医師による診察、臨床心理士による発達検査を実施し、	保健師・臨床心理士・教育相談支援員・合理的配慮協力員による相談、医師による診察、臨床心理士による発達検査を実施し、
48		51	文言修正	支援が必要な子どもが集団生活に必要な能力を身につけさせるための個別・集団療育を実施します。	支援が必要な子どもが集団生活に必要な能力を身につけるために、個別・集団療育を実施します。
49		53	文言修正	子どもたちの豊かな学びを実現するためには、いじめや不登校等の課題について、校長のリーダーシップのもと教職員一人ひとりの力を生かし、「チーム学校」として学校全体で取り組みます。	子どもたちの豊かな学びを実現するために、いじめや不登校等の課題について、校長のリーダーシップのもと教職員一人ひとりの力を生かし、「チーム学校」として学校全体で取り組みます。
50		56	文言修正	取組4 コミュニティスクールとしての新しい学校づくり	取組4 コミュニティ・スクールとしての新しい学校づくり
51	57	成果指標 (基準値の見直し)	令和2年度に実施した市民意識調査を基に修正 ●オープンスクールなどの学校行事や学校でのボランティア活動などに参加する市民の割合 平成29(2017)年調査 44.9% ⇒ 令和7(2025)年調査 53.0%	令和2(2020)年調査 45.7% ⇒ 令和7(2025)年調査 53.0%	

番号	章	ページ	修正箇所		修正前	修正後
52	第4章	57	成果指標 (基準値、目標値の見直し)	令和2年度に実施した市民意識調査を基に修正	●青少年の補導活動や地域子ども見守り隊などの活動に参加する市民の割合 平成29(2017)年調査 31.4% ⇒ 令和7(2025)年調査 39.0%	令和2(2020)年調査 28.2% ⇒ 令和7(2025)年調査 33.0%
53		58	文言修正		また、令和4(2022)年1月から新校舎で小中一貫教育が実践できるよう、東条学園との調整を進めます。	また、令和4(2022)年1月から新校舎で小中一貫教育が実践できるよう、東条学園小中学校との調整を進めます。
54		58	文言修正		令和4(2022)年度から建設工事に着手します。	令和4(2022)年度から建設工事の着工を目標にしていますが、現社中学校の学習環境への影響を考慮しながら、慎重に工程を組んでいきます。
55		58	文言修正		令和7(2025)年度から建設工事に着手します。	令和7(2025)年度から建設工事に着手することを目標にします。
56		59	成果指標 (基準値、目標値の設定)	令和2年度に実施した市民意識調査を基に成果指標として追加		●学校教育環境の整備充実に満足している市民の割合 (総合計画に関する市民意識調査) 令和2(2020)年調査 19.9% ⇒ 令和7(2025)年調査 24.0%
57		60	文言修正	西暦追加	令和2年度に改訂した	令和2(2020)年度に改訂した
58		62	文言修正		人権文化をすすめる市民運動推進強調月間(8月)、人権週間(12月)に啓発活動の強化月間として住民意識の高揚に努めるほか、様々な人権問題をテーマとした講演会等を開催します。	人権文化をすすめる市民運動推進強調月間(8月)、人権週間(12月)を啓発活動の強化月間として住民意識の高揚に努めるほか、様々な人権問題をテーマとした講演会等を開催します。
59		62	成果指標 (基準値の見直し)	令和2年度に実施した市民意識調査を基に修正	●人権を日常的に意識している市民の割合 平成29(2017)年調査 76.2% ⇒ 令和7(2025)年調査 80.0%	令和2(2020)年調査 77.3% ⇒ 令和7(2025)年調査 80.0%
60		63	文言修正		文化賞の表彰や文化芸術賞賜金の交付により、文化芸術の振興を図ります。	文化賞の表彰や文化芸術賞賜金の授与により、文化芸術の振興を図ります。
61		63	成果指標 (基準値、目標値の見直し)	令和2年度に実施した市民意識調査を基に修正	●芸術・文化に関する施策が重要と回答する市民の割合 平成29(2017)年調査 52.3% ⇒ 令和7(2025)年調査 56.0%	令和2(2020)年調査 65.9% ⇒ 令和7(2025)年調査 68.0%
62	64	文言修正		歴史民俗資料館を有効に活用するとともに、多様なイベントなどにより文化財を広く公開し、価値や魅力を発信します。	加古川流域滝野歴史民俗資料館を有効に活用するとともに、多様なイベントなどにより郷土の文化財を広く公開し、価値や魅力を発信します。	

番号	章	ページ	修正箇所		修正前	修正後
63	第4章	65	成果指標 (基準値、目標値の見直し)	令和2年度に実施した市民意識調査を基に修正	●芸術・文化に関する施策が重要と回答する市民の割合 平成29(2017)年調査 52.3% ⇒ 令和7(2025)年調査 56.0%	令和2(2020)年調査 65.9% ⇒ 令和7(2025)年調査 68.0%
64		66	文言修正		スポーツ賞の表彰やスポーツ賞賜金の交付により、スポーツ振興を図ります。	スポーツ賞の表彰やスポーツ賞賜金の授与により、スポーツ振興を図ります。
65		66	文言修正		スポーツを通じて、小学生や中学生を対象とした技術の向上及び健康・体力づくりのため、陸上競技教室などを開催します。	小学生や中学生を対象とした専門技術の向上及びスポーツを通じた健康・体力づくりのため、陸上競技教室などを開催します。
66		67	成果指標 (基準値の見直し)	令和2年度に実施した市民意識調査を基に修正	●スポーツ活動の支援が重要と回答する市民の割合 平成29(2017)年調査 67.3% ⇒ 令和7(2025)年調査 86.0%	令和2(2020)年調査 69.9% ⇒ 令和7(2025)年調査 86.0%
67	参考資料	71~83	資料編	用語説明、関係法令、計画策定経過等を追加		追加 (策定委員会資料1のとおり)